

設計に当たってのコンセプト

1. 全般

- (1) 耐災害性を最重視。構造家に相応しい安全で強い住宅を追求。
- (2) デザインは、華美にならない、奇を衒わない、媚びない。
- (3) キーワードは簡素、毅然、矩形、堅実、高尚。

2. 将来をにらんで（メタボリズム）

- (1) 娘が家を出て行った場合は2階を貸す。
- (2) 娘世帯と同居する場合は2階に住まわす。
何れにせよ高齢者の一階だが、狭くとも2LDKが可能なように
玄関から動線分離して階上にT, B, K設置を考慮

3. ユニバーサルフリー

- (1) 1階だけで生活が可能なように（L, D, K, B, T）。
- (2) トイレは車椅子考慮（引き戸、幅広、正面入り）。
- (3) 敷地全体のアプローチにおいてもスロープ考慮。

4. 必要諸室

- (1) 1階にはLDKと和室（押入れ、仏壇）。
- (2) 上記3. (1)によりL, D, K, B, T, U。
- (3) 玄関にエントランスクローク。
- (4) 2階には居室3間（1室は狭い書斎、又は箆笥置き場で可）。
- (5) トイレと洗面（パウダー？）～将来の改造後も考慮した配置。
- (6) 箆笥置き場若しくは広めの納戸（鶴見荷物）。

5. 外構など

- (1) 宅盤は南、西の隣地との関連から現状より90cm程度上げたい。
ただし、北東端での擁壁が1mを越さないように（宅造法）。
- (2) 車は何とか2台といった程度で可。
- (3) バイク車庫。

6. その他

- (1) 可能な限り免震を追求（マンションの売却価格にもよるが）。
- (2) 屋内階段は緩やかに。
- (3) 母所縁の植木を移植。